

発行 中野島地区社会福祉協議会
川崎市多摩区登戸1763
ライフガーデン向ヶ丘2階
福祉パルたま内
地域課: TEL 935-5500
FAX 911-8119
発行人/田村 弘志
編集人/総務部



社協シンボルマーク
社協は社会福祉協議会の略称です

なかのしま

2016.7.15 No.31 (年2回発行)

中野島地区社協のテーマ
この地域
誰もが暮らしやすい
中野島・布田

中野島地区社会福祉協議会定期総会が、5月21日(土)中野島会館にて開催されました。
古谷副会長による開会のことばにつづき、田村会長のあいさつがありました。来賓の皆様からは、多摩区社会福祉協議会斉木局長と学校関係を代表して千野下布田小学校校長からご挨拶をいただきました。



中野島地区社会福祉協議会定期総会
が、5月21日(土)中野島会館にて開催
されました。
古谷副会長による開会のことばにつ
づき、田村会長のあいさつがありまし
た。来賓の皆様からは、多摩区社会福
祉協議会斉木局長と学校関係を代表し
て千野下布田小学校校長からご挨拶を
いただきました。

平成28年度中野島地区社会福祉協議会定期総会が開催 新年度予算・事業計画が決まりました

つづいて、議長に粕谷氏・古川氏を
選出、書記に広田氏・記録係を稲垣氏
に委任して議事に入りました。
理事95名のうち75名(委任状35名含
む)出席。
① 平成27年度事業報告(柳副会長)
(総務部・福祉部・青少年幼稚部)
② たんぽぽ・会食会)各部長・委員長
平成27年度決算報告(金井会計)
③ 平成27年度会計監査報告
(柳田監事)
があり、それぞれ承認されました。
つぎに

中野島地区社会福祉協議会も誕生し
てから十年になりました。今年度事業
計画において、記念事業や記念誌の作
成等を予定しています。また、来年の
2月10日(金)には「創立十周年記念
式典」を中野島会館において開催する
予定です。ご期待ください。

日ごろより、地域福祉活動に御協力
いただきまして有り難うございます。
また、本日ご多忙の中御出席いただき
ました来賓の皆様方には、厚く御礼申
上げます。
本日の総会におきまして、平成28年
度事業計画・予算が無事承認され、い
よいよ新年度事業が始まります。
最近、毎年のように日本のどこかで
大規模な自然災害が発生しています。
私たちも、いつどのような自然災害が
発生しても対応できるよう、普段から
の心掛けや地域の連携を深めておく必
要があります。この中野島・布田地区
がより一層安全で暮らしやすい街にな
るよう、皆様と共に協力して行きまし
よう。

会長あいさつ

中野島のこんな事知ってますか

笹の付いた竹竿で、すす払いをしたり、障子の張り替えをしたり、外では生け垣の修理や刈り込みをします。正月の準備は餅をついてお供えを作り、だいたい完了します。

年中行事(その五)

秋、いよいよ梨、ブドウ、柿の最盛期に入ります。東京市場に出荷するの
で中野島の集荷場へ定刻時間までに持
って行くので子ども達も総出で手伝い
ます。集荷場は現在は中野島公民館と
して中野島町会が管理運営しています。
忙しさも一段落すると10月3日は稲荷
神社のお祭りです。お赤飯を炊いて、
お煮染めを作ってお客さんをお迎えし
ます。お宮の参道には夜店が並び、カ
ーパイトの灯りがともされ独特のにお
いとお祭りらしい食べ物の匂いと混ざ
ってお祭りの雰囲気を感じてます。
舞台では三番叟やヤマタの大蛇(オロ
チ)退治などが演じられ、子供達は目
を丸くして見入り、後日芝居のまね遊
びがしばらく続きました。祭りが終わ
ると急に秋風が冷たく感じたもので
す。稲刈りが始まります。何回も手
をかけ、台風にも耐えての刈り入れ
です。稲束を竹竿に掛けて一週間く
らい乾燥させます。竿から下ろし足
踏み式の稲こき機でリズム良くモミ
にします。モミを脱穀し玄米にして
俵に詰めて終了です。この頃の行事
に新嘗祭(にいなめさい)がありま
す。天王が行う重要な祭儀の一つで
「嘗」は「なめる」という意味で
「神様と人が一緒に食べ合う」と
言うことで、その年の新米を食べる
神事が行われる日です。戦後は国家

の行事としては中止されましたが「勤
労感謝の日」として生まれ変わりました。
収穫後の田畑には、主に稲を刈り
取った田んぼには大麦を蒔き、サツマ
イモを取り入れた畑には小麦をまきま
した。寒い冬の季節の草とり、麦踏み
も大変な仕事だったような記憶があり
ます。物置小屋では、稲藁を打って縄
を編んだり草履や米俵を編みました。
年も押し詰まると楽しい年の市があり
ます。調布の天神様の参道には暮れに
使う餅つきの臼や杵、蒸籠、なべ、釜
までが並んでいました。子供にとつて
のお目当てはタコやコマです。お正月
が待ち遠しく「もういくつ寝るとお正
月」のウキウキの気分でも有り、大
掃除の時期でもあります。家の中は、



稲刈り後の風景

田村弘志

暮らしやすい地域づくりへの一言

特定非営利活動法人「ままとんきっず」
理事長 有北いくこ
「ままとんきっず」は、24年前乳幼児子育て中の母親5人で始めた子育て支援活動で、布田やアパートの一室を借り、子育てサロンや情報誌作り、リサイクル等を行って
います。
その後メンバーが増え、講座やイベント、一時保育など30事業、参加親子は年間延べ2万名以上となり、NPO法人化しました。事業所は南生田、稲田堤と移り、昨年末に再び布田に戻ってきました。
現在、こども文化センターで週3回「子育て支援センター」を運営し、布田の事務所では、子育てサロン・講座・相談・一時預かり・サポート・研修等を行い、毎日親子の賑やかな声が響き渡っています。
子育て支援は、地域や行政でも様々な行われていますが、児童虐待は増え、核家族、孤立化、共働き、貧困等、親の負担はますます増加しています。
当法人のメンバーは約60名、20代~60代の女性です。子育て当事者、経験者だからわかるお母さんの悩みに寄り添い、子ども達が皆、無条件にだれからも愛される場、関係作りを目指して、日々活動しています。これからも地域の方達と協力しながら、親子が元気に生活し、育っていける街作りができればと願っています。

暮らしやすい地域づくりへの一言

特定非営利活動法人「ままとんきっず」
理事長 有北いくこ
「ままとんきっず」は、24年前乳幼児子育て中の母親5人で始めた子育て支援活動で、布田やアパートの一室を借り、子育てサロンや情報誌作り、リサイクル等を行って
います。
その後メンバーが増え、講座やイベント、一時保育など30事業、参加親子は年間延べ2万名以上となり、NPO法人化しました。事業所は南生田、稲田堤と移り、昨年末に再び布田に戻ってきました。
現在、こども文化センターで週3回「子育て支援センター」を運営し、布田の事務所では、子育てサロン・講座・相談・一時預かり・サポート・研修等を行い、毎日親子の賑やかな声が響き渡っています。
子育て支援は、地域や行政でも様々な行われていますが、児童虐待は増え、核家族、孤立化、共働き、貧困等、親の負担はますます増加しています。
当法人のメンバーは約60名、20代~60代の女性です。子育て当事者、経験者だからわかるお母さんの悩みに寄り添い、子ども達が皆、無条件にだれからも愛される場、関係作りを目指して、日々活動しています。これからも地域の方達と協力しながら、親子が元気に生活し、育っていける街作りができればと願っています。

掲示板

- (一) 中野島音楽祭
「好きです中野島」
中野島音楽祭実行委員会では、今年も次のとおり音楽祭を開催いたします。
日時 平成28年7月23日(土)
11時から21時
雨天の場合翌24日(日)
場所 第一会場
新多摩川ハイムとその周辺
第二会場
北口通り商店会センター前
- (二) 調布「夏」花火大会2016
今年も、次のとおり調布市花火大会が開催されます。
日時 平成28年8月21日(日)
18時50分から19時50分
場所 多摩川河川敷(布田地域)
荒天の場合中止
- (三) 盆おどり大会
中野島青年会では、今年も次により盆おどり大会を開催します。
日時 平成28年8月6日(土)
および 7日(日)
場所 中野島稲荷神社境内

